



自立活動の広がり求めて ～スキルをつむつむ大作戦～

小学部6年生
児童Cのケース

1 児童の実態ともっているスキル

【よいところ】

- ・体格が良く健康的である。
- ・人が好きで人懐っこい。
- ・絵、文字カードの意味が分かる。
- ・日常生活の動作はほぼできる。
- ・簡単な言葉での指示を理解できる。

【困っているところ】

- ・注目行動がある。(放尿、無断外出、物投げなど)
- ・気持ちが高揚するとなかなかクールダウンできない。
- ・自分の気持ちや思いを言葉などでうまく伝えられない。
- ・大きな集団の場に適応することが苦手。

自立活動お助けシートを活用！

子どもの実態チェックの基準		【 】さんの実態チェック	
3 人間関係の形成			
① 他者との関わりを基礎にすること			
・特定の教師からの働きかけを受け入れて行動できる		○	
・特定の教師以外の教師からの働きかけを受け入れて行動できる		△	不安なとき拒否をすることがある
・友達への関心がある		○	
④ 集団への参加の基礎にすること			
・集団活動に嫌がらずに参加できる		△	学年集団くらいであれば参加できる
6 コミュニケーション			
① コミュニケーションの基礎的能力にすること			
いろいろな刺激に対して、快・不快の表出ができる			
・指さしや身振り、具体物の提示により求められていることを理解し、それに応じた行動ができる		○	
・要求があるときに何らかの手段で伝えようとする(該当するものに○印)		○	
(言葉) コミュニケーションエイド 絵・写真カード サイン・身振り (指さし) (発声) (クレーン)			言葉は単語
・適切な方法(言葉、身振り、サイン、絵カードなど)で拒否の気持ちを伝えることができる		x	
② 言語の受容と表出にすること			

転入当初の5年生時は、単語はつぶやくものの、伝える言葉は少なかった。担任がそばを離れるなど不安を感じると衝動的な注目行動をしており、大きな集団の場にも入れずにいた。このことから、集団での活動経験の乏しさからくるとの関わり方の弱さと、新しい環境での不安感が強いのだと感じた。そこで、人との関わりを多くもつことで安心感を得て、自分の気持ちを伝えられるようになってほしいと考え、以下の目標を立て取り組んだ。

2 2年間の取組

5年生

目標 <3 人間関係の形成>
集団での活動に慣れ
友達と一緒に活動できる

生活単元学習

- 遊びの時間を設けて好きな遊びをする。
→集団って楽しい♪
- 学年全体で児童に話しかけ遊びに誘う。
→みんなで見てるよ。



スキル

- ☆集会に参加できた！
- ☆いたずらの種類や頻度が減った！

目標 <6 コミュニケーション>
適切な方法で自分の気持ちや
要求を伝えることができる

日常生活の指導

- 絵カードをヒントに、自分の要求を伝える。
ex. 「遊んでください」
「～が聴きたいです。」



- 給食でおかわりが欲しいときに、「～をください」と教師に伝える。

スキル

- ☆伝えられる言葉が増えた！
- ☆伝えようという気持ちが出てきた！
- ☆家庭でも言うことができた！

どの先生も自分のことを見てくれているんだ！

言葉で伝えれば、要求を聞いてもらえるんだ！


安心感



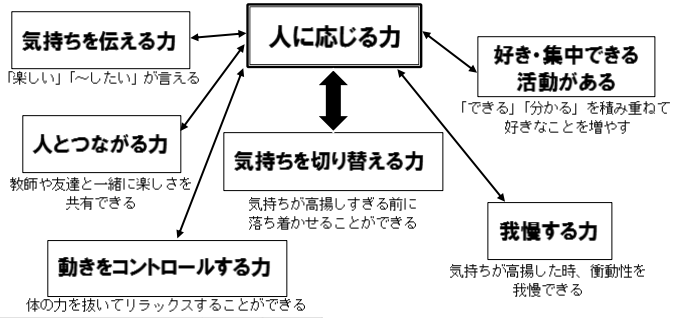
学校って楽しい♪

6年生

学校に楽しいことがたくさんあってハイテンション！
笑い出すと止まらない。
指示が入らない。

困ったなあ。。。 

伸ばしたいスキル



子どもの実態チェックの基準 ○：できる、支援なしでできる △：支援など、ある条件があればできる ×：支援があってもできない

2 心理的な安定		【 】さんの実態チェック
① 情緒の安定に関すること		
・喜怒哀楽の感情それぞれを何らかの方法で表出できる	○	
・行動の修正を求められた時に、落ち着いて受け入れることができる	△	気持ちが高揚したときには難しい。
・怒りや悲しみ、不安の感情を引きずらずに気持ちを切り替えられることがある	△	気持ちが高揚すると切り替えが難しい。
② 状況の理解と変化への対応に関すること		


目標 <2 心理的な安定> 学校生活を安定した気持ちで過ごすことができる

落ち着く経験を積む

日常生活の指導

- 昼放課に寝転んで静かに過ごす。
- 教師と一緒に深呼吸と「落ち着いて」のかけ声で気持ちを落ち着かせる。
- 教師と落ち着いたやりとりをする。



おちついて。。。 

スキル

- ☆気持ちが高揚しても、短い時間で落ち着くことができるようになった！
- ☆落ち着いて過ごせる時間が増えた！

できる！分かる！楽しい授業

音楽

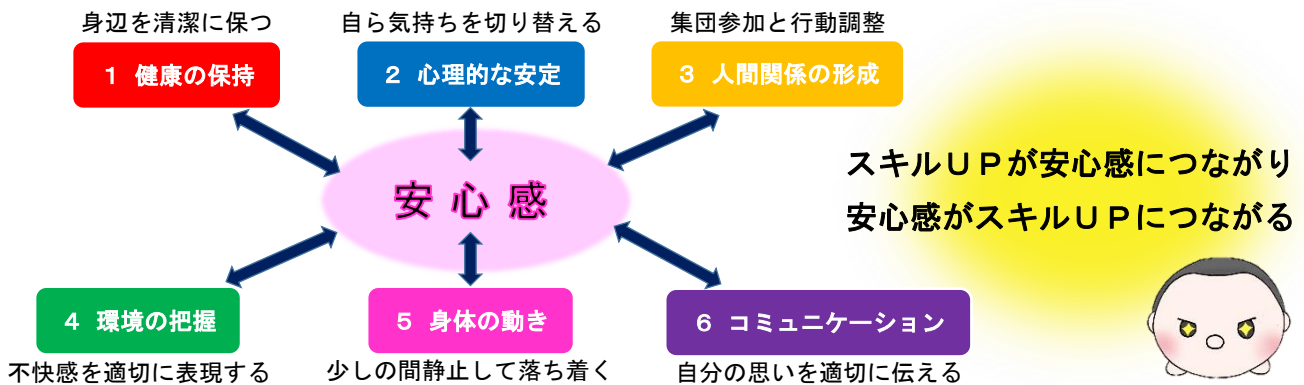
- 興味・関心がある題材を取り上げる。
- 見てすぐ分かり、すぐ取り組める動作・演奏を取り入れた歌遊び(わらべ歌)、音遊び(リコーダー)をする。
- 「できた」で終わり、褒めてもらう経験をさせる。



スキル

- ☆しっかり「見る」「聞く」ことができた！
- ☆期待して自分の活動の順番を待つことができた！

3 今後の課題



今後は、この安心感の中で児童自身が「やりたい！」などの**意思表示**をする場面や、思いを伝えるための**手段**が増えるような支援をしながら、**人との関わり**を広げていきたい。